

「OSSAJ フォーラム 2008 『OSS ビジネス最前線』」のご案内

日頃はNPO法人オープンソースソフトウェア協会（OSSAJ）の活動にご協力いただきありがとうございます。2003年の設立以来、地道な活動を続けてまいりましたが、本年は「OSSAJフォーラム 2008 『OSSビジネス最前線』」と題して公開のセミナーを開催いたします。会員の方々はもちろんのこと、一般の皆様方のご参加もお待ちしております。

記

「OSSAJフォーラム2008 『OSSビジネス最前線』」概要

- ◆開催日 2008年1月24日（木）
- ◆時間 13:30-20:00
- ◆場所 フォーラム：アキバプラザ 6階セミナールーム（Room #6）
懇親会：アキバプラザ5階レセプションホール（C&D）
(<http://www.fsi.co.jp/akibaplaza/cont/info/access.html>)
- ◆フォーラムタイトル 『OSS ビジネス最前線』
- ◆受付 13:00-13:30（会場前にて）
- ◆挨拶 13:30-13:40 足立 会長
- ◆講演1 13:40-14:30 「オープンソース・ビジネスの変遷と今後」

角田 好志 様（オープンソースジャパン株式会社）

[概要] オープンソース・ビジネスは、Red Hat の大成功や政府の積極的な支援などで日本においてもベンチャー事業として大きく広がったが、大手SI企業が次々とOSSサポート事業に進出したり、景気回復による情報化投資拡大などにより、現在は低迷し始めている。

今後のオープンソース・ビジネスの方向性として、これまでのようにOSSブランドをベースにしたサブスクリプション・モデルではなく、さまざまなIT分野において、あまり活用されていないような特殊なソフトウェアの存在をサーチし、活用主体であるユーザー企業のメリットに直接対応していくソースコード改修モデルが重要になると思われる。それらの変遷と今後を展望する。

休憩 14:30-14:40

- ◆講演2 14:40-15:30 「Linux ビジネスから OSS ビジネスへの変革」

小田切 耕司 様（オープンソース・ソリューション・テクノロジー株式会社）

[概要] Linuxバブルと言われた2000年前後にはLinuxビジネスという言葉がよく使われ、様々なベンダーにLinuxという文字が含まれた事業部や部署が多く見られる。

ところが現在はそれらのベンダーの部署は皆Linuxの文字の代わりにOSSやオープンソースという言葉が含まれたものになってきている。ビジネスモデルとして何が変わったのか？以前Linuxディストリビューションに勤務していた講師が現在のOSSビジネスがどのように変化してきているのかユーザ事例を交えながら紹介する。

休憩 15:30-15:40

- ◆パネルディスカッション
15:40-17:40 司会：鈴木 重徳（OSSAJ事務局）
パネリスト：
（上記講演者）
寺田 雄一 様（株式会社野村総合研究所）
村野 雄一 様（インタードットネット株式会社）

- ◆情報交換会（アキバプラザ5階レセプションホール（C&D））
18:00-20:00

◆お申込みとお問合わせ : 下記フォームにて info@ossaj.org 宛にメール (メールタイトルに「フォーラム 2008」と記載して下さい) あるいは FAX にてお願い致します。

◆参加費 正会員、賛助会員 : 3,000 円、一般会員、協賛団体会員 : 4,000 円、
一般の方 : 5,000 円 (当日受付にてお支払い下さい。領収書を発行致します)
以上

◆講演者紹介

◆角田 好志 (かくた こおし)

オープンソース・ジャパン代表取締役社長 兼 PCI ホールディングス取締役。

三井銀行 (現三井住友銀行) にてシステム開発部や国際部などに在籍。三井銀ソフトウェアサービス (現さくら情報システム) 出向時代に、黎明期の PC LAN 事業や AI 事業などを立ち上げ。その後、さくら銀行 (現三井住友銀行) と昭和電線電纜 (現昭和電線ホールディングス)、ワールドビジネスセンターとの合併会社であるネットワーク SI 企業アクシオを設立し、常務取締役に就任。

1997 年、大塚商会の支援を受け Java と Linux の SI 企業テンアートニ (現サイオステクノロジー) を設立し代表取締役社長。2002 年 1 月より代表取締役会長。

2002 年 12 月、ゼンド・オープンソースシステムズを設立し代表取締役社長に就任。2003 年 2 月テンアートニ取締役を退任。テンアートニは 2004 年 8 月に東証マザーズに上場を実現。

2004 年 9 月、ゼンド・オープンソースシステムズはオープンソース・ジャパンに社名変更。その後 2007 年 7 月にオープンソース・ジャパンは PCI ホールディングス・グループに入り、同ホールディングス取締役に兼務して現在に至る。

◆小田切 耕司 (おだぎり こうじ)

オープンソース・ソリューション・テクノロジー株式会社 代表取締役 チーフアーキテクト

早稲田大学理工学部電気工学科卒業。1985 年、三菱電機 計算機製作所に入社し、メインフレーム (汎用機)、UNIX、Windows のトランザクションモニタやデータベースなどミドルウェア開発に従事。OSF/DCE の大規模ディレクトリサービスや分散ファイルシステムの研究を行い、大規模ディレクトリサービス設計コンサルティングなども経験。

1997 年に日本初の Samba 解説本を執筆し、1998 年に Samba 1.9 日本語版を開発 (国内初)。日本 Samba ユーザー会の設立に寄与し、初代表幹事を務める。

2001 年、ミラクル・リナックス株式会社へ入社。開発部 部長、製品本部 本部長、プロフェッショナル サービス部 部長を経験し、Linux およびオープンソース製品の開発、マーケティング、コンサルティングサービス事業立ち上げを行う。

2006 年 9 月 オープンソース・ソリューション・テクノロジー株式会社を設立、代表取締役就任し、現在に至る。

「OSSAJ フォーラム 2008」参加申込書

(FAX:03-5940-4582)

年 月 日

※氏名(ふりがな) : ()

※所属 :
連絡先郵便番号 :
連絡先住所 :

※Tel :
Fax :

※E-Mail :

※種別(該当欄を黒四角(■)に変更してください):
 OSSAJ 会員(正/一般/賛助) : 会員種別 ()
 協賛団体会員 : 団体名 ()
 一般

先頭に"※"がある項目は必須項目です。他はオプション項目です。